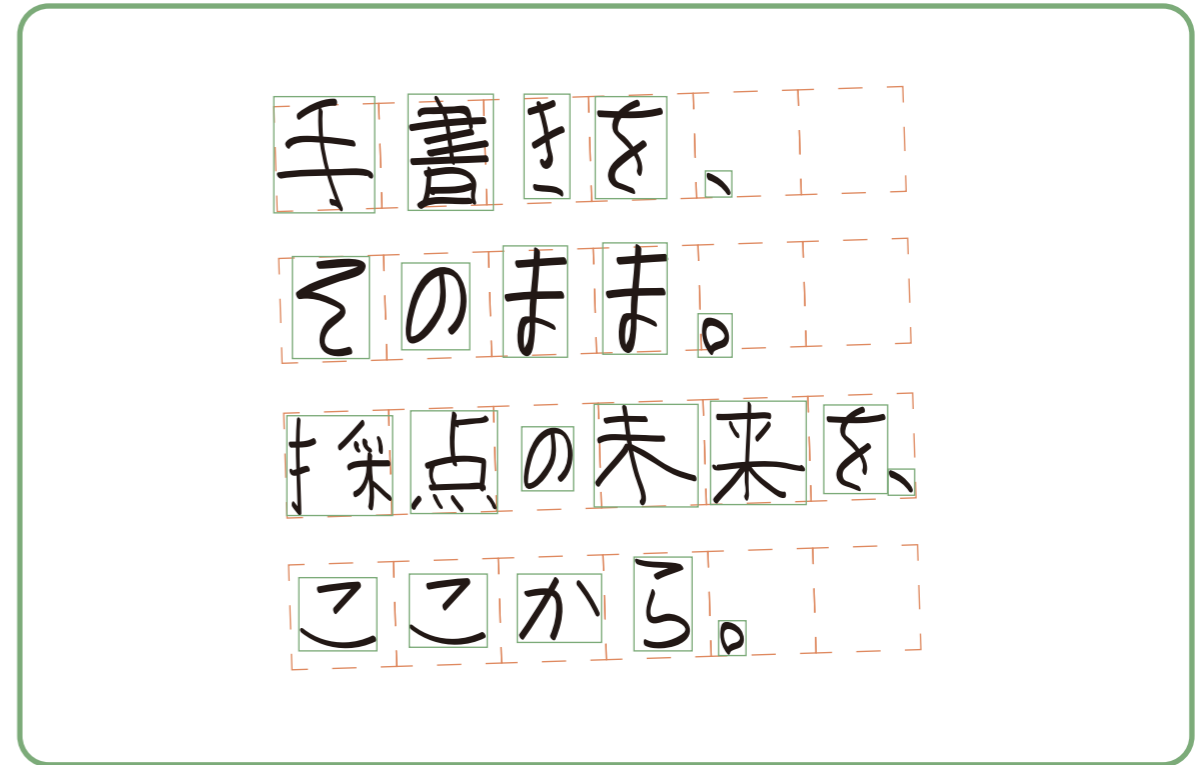


手書きを、
そのまま。
採点の未来を、
ここから。



生徒の解答

空白にする

OCR再生成

手書きを
そのまま。
採点の未来を
ここから。

合計得点

自動採点を行う



採点基準ごとの採点結果

30字以内での記述

加減 4 / 4 点

理由: 改行を含めても22文字であり、30字以内という条件を満たしている。

手書きテストを捨てずに採点業務そのものを改善する表現を簡潔に示している。

加減 3 / 3 点

理由: 「手書きをそのまま」という表現により、手書きテストを維持しつつ業務を改善する意図が簡潔に示されている。

校務支援システムとして成長し、未来を紡ぐ意思を簡潔に示している。

加減 3 / 3 点

理由: 「採点の未来をここから」という表現により、システムとしての成長と未来を切り拓く意思が簡潔に示されている。

tes+us

AI採点システム - テスタス -

手書きを、そのまま。 採点の未来を、ここから。

デジタル採点システムが当たり前になりつつある今、
職員室には新たな悩みが生まれています。

「システムの都合に合わせて、問題の形式を変えなければならない」
「操作が複雑で、マニュアルを教える担当者が必要になる」

効率化のためのツールが、かえって先生方の制約になっていないでしょうか。

testus - テスタス - が目指すのは、そんな妥協をなくす新たなデジタル採点システムです。
出発点である「手書きの答えを AI が読める」技術をさらに磨き上げました。
一生懸命書いた字や、大きくのびのびした字も、高度な AI が読み取って採点基準を提案し、
分析から指導改善までを直感的な操作で、一つのサービスで支えます。

さらに、問題用紙から解答用紙を自動生成する新機能が、
テスト準備の負担も劇的に軽減します。

手書きの答案に宿る、生徒の思考の跡。

その温かみと、先生が本来やりたかったテストを捨てることなく、
先生の時間を「生徒一人ひとりと向き合う時間」に変えること。

それが testus - テスタス - の願いです。

テストの準備から、分析・指導改善まで。
testus はテストをはじめとする校務負担を
「生徒と向き合う時間」に変えるデジタル採点システムです。

tes + us 

問を作ることに集中できる。

解答用紙生成

短答も、長文記述も、全て自動で。

自動採点

採点理由や、つまづきを可視化。

分析・フィードバック

自動採点機能

「味な字」も「長い文章」も、 読んで採点できる理由。

従来の採点システムでは、記号問題や短答問題を得意とし、
長文記述は苦手としてきました。
字が崩れていると読めないものも。

testus の AI-OCR 技術はたどたどしい字や個性豊かな字でも
高い精度で認識し、長文記述まで自動採点できます。

tes+us

3つの柱

解答用紙生成機能

問題用紙を入れるだけ。 解答用紙はAIがつくる。

問題用紙をアップロードするだけで、AI が解答用紙を自動生成。
準備の時間を大幅に削減します。

AI分析機能

採点で終わらない。 分析までまっすぐつながる。

AI 技術を駆使して採点基準を作成可能。
採点結果の理由も AI が個別に説明します。



とある先生の 定期テスト。

with

tes+us 

“採点を効率化したい気持ちはある。
...でも、機械任せで大事なところを見落とさないだろうか。”

そんな不安は、現場で真摯に生徒と向き合っている先生ほど自然に持つ感覚です。testusは、作業量を減らすだけの自動化ではなく、先生の意図を途中で確認・調整しながら進められる設計を大切にしています。ここでは、ある先生の定期テスト運用を6つの流れで追いながら、どこで負担が軽くなり、どこで先生の判断が活きるかを紹介します。

#1

授業の意図をのせる、最初の設計。
問題用紙を作成

まずは先生が、いつも通り問題を作るところから始まります。この工程には testus は入りません。

「ここはあえて記述で考えさせたい」「この単元は途中式まで見たい」。そうした教育上の判断は、効率化のために削るべきものではありません。testus は、この“先生が設計した問”を前提に、次の工程から帆走を始めます。

#2

準備は短く、設計意図はそのまま。
解答用紙を準備する

問題用紙ができたら、解答用紙を準備します。ここから testus が関わり、問題用紙とともに解答用紙の自動作成と、解答枠の自動検出を行います。

ただし、ここで重要なのは「自動で作る」こと自体ではありません。先生が見て「この記述欄はちょっと狭いかな...?」「この辺りの問は並列させたいな」と感じたときに、手で調整できることです。

忙しい中でも、ゼロから作る負担は減らしつつ、問の狙いに合わせた最終調整は先生が



担える。testus ではこのバランス感覚を大事にしています。

#4

採点は自動化する。判断は先生が持つ。
採点する

スキャンした答案を取り込むと、testus は生徒と答案を自動で紐づけ、採点基準のたたき台を生成し、AI 自動採点まで進めます。採点時間を大きく圧縮できる一方で、ここは先生の不安が最も出やすい時間でもあります。

「この答案、本当にこの点でよいか」「部分点の意図は反映されているか」。testus では、こうした現場の先生方の不安を受けて“見直しと調整”ができる設計にしています。

自動採点結果を確認し、必要な設問だけを修正する。採点基準の表現を授業での反応を活かして調整する。重たい作業は軽くし、先生の意図は反映できる。

生徒へのまなざしを諦めることなく時間を短縮できるようになっています。

AI の不安を可視化する



2026年4月現在、testus の自動採点精度は 96.1%*です。加えて、採点基準的に曖昧なものや、先生の判断が必要なものを含め、AI 採点が不安なものは一目で分かるようになっています。

* 記号・数式・記述式採点も含めた自動採点と人手採点の一致率

自動化だけでは終わらない。 先生と一緒に、 テストを走り切る。



#3

いつもの流れで。
テスト実施

準備が整ったら、テスト本番です。普通紙に印刷して配布し、実施後に答案を回収・スキャンします。この工程も testus は直接関わりません。専用紙や特別な運用を挟まず、学校現場の既存フローを大きく変えないこと。手書きの解答に宿る生徒たちの思考の跡を追えるようにすること。これらは、testus のこだわりであり、導入初期の負担を抑えるうえで大切な条件です。

自作の解答用紙でも OK

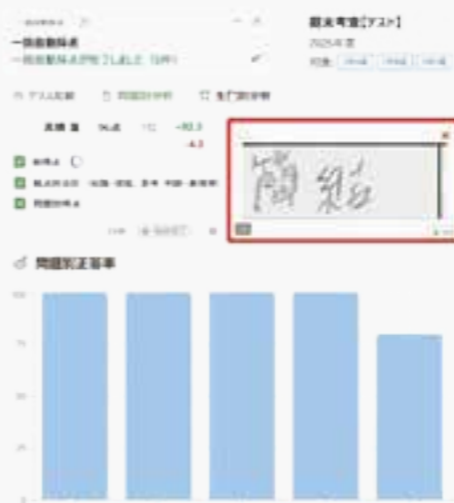


先生オリジナルの解答用紙でも、testus は解答枠の自動認識を行うことができます。採点システムのために、問いたいことや書かせたいことを曲げる必要は一切ありません。

#5

つまずきの輪郭まで見る。
分析

採点結果は、分析ダッシュボードに表示されます。testus は正答率や設問別傾向だけでなく、クラス全体のつまずきや、生徒ごとの理解差を読み解く材料を整理します。自動集計で時間を取り戻し、その時間をテスト結果の分析や次の授業設計に回していただけます。



#6

次の対話をつくる。
返却・フィードバック

採点結果の返却は、これまで紙で渡していた運用をベースにしなが、必要に応じて Google Classroom 連携でスムーズに届けられます。大切なのは、返却を「点数の通知」で終わらせないこと。testus のシンプルで使いやすい、確実に業務を軽くする設計は、先生が生徒とのコミュニケーションに集中できる環境を提供します。

その他 ご利用場面

様々な場面でご利用いただけます。

出版社様にも

塾・模試・資格試験等の採点業務



採点コストを大幅削減。
大規模な採点でのばらつきやすい採点基準も、
testus ならシステムで統一できます。

自学自習等でのご活用



ご家庭での自学自習にも
ご自身の参考書や問題集を使って
学習サイクルを回していくことができます。

イベント等での即時採点



実施したその日のうちに、
読み取り・採点・返却まで完了できます。

株式会社 E プランニング様にご活用いただきました。



「パズル道場 DX 2025 種目別選手権」にて
集計工数を大幅に圧縮し、
イベント運営の効率化を実現しました。

これからの tes+us

testus は採点システムにとどまらず、校務支援エージェントとして進化を続けます。
テストに関わる業務全体をより軽くし、生き活きとした教育現場への貢献を目指します。

ご意見募集中!!

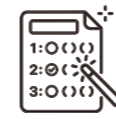
<こんな機能が欲しい!>
<もっとこうして欲しい!>

開発ロードマップはこちら →



もっとできること。

細かいところも丁寧に。さらに使いやすいアプリケーションへと進化しています。



かんたんテスト準備

自作の解答用紙でも、模範解答を読み取って正答を一括設定。
解答枠も自動検出で、設定作業を大幅に短縮します。



スキャンするだけで取り込み完了

答案をスキャンして一括アップロード。
出席番号・氏名で生徒と自動的に紐づけます。



いつもの紙と複合機で OK

専用紙や専用スキャナーは不要。
普通紙に印刷して、いつもの複合機で読み取れます。



国語の縦書きにも対応

縦書きの記述答案も AI が正確に読み取り。
教科の形式を問わず幅広く使えます。



採点結果はワンクリック修正

AI の採点結果をその場で確認・修正。
問題ごとの横串チェックで一括確認もできます。



成績をひと目で把握

正答率・得点分布をダッシュボードで可視化。
クラス別・設問別の比較も行えます。



Google Classroom でペーパーレス返却

採点済みの答案を印刷なしでオンライン返却。
GIGA スクール端末にそのまま届けられます。

セキュリティ・サポート

生徒の個人情報を扱うサービスとして、セキュリティを最優先で設計。
国際規格準拠、権限分離、定期バックアップなど、安心してご利用いただける体制を整えています。



権限管理

管理者・採点者で
閲覧範囲を制御。



データバックアップ

定期的に自動で
バックアップを実行。



ISO27001 取得

当社 教育事業部は
情報セキュリティマネジメントの
国際規格を取得しています。



クラウド型 (AWS)

公的要件を満たす基盤で
運用しています。



24時間 365日サポート

AI チャットボットで
常時間問い合わせ窓口を提供。

使用前の注意

- 各自治体・機関での規程をご確認の上、ご利用ください。
- 複数人での個人有料アカウントの共有はご遠慮ください。

推奨環境

推奨ブラウザ	Google Chrome / Microsoft Edge / Safari / Firefox (各最新版)
対応 OS	Windows 10 以降 / macOS / ChromeOS
インターネット接続	常時接続が必要です
スキャナー	一般的な複合機 (JPEG・PDF 出力対応)

料金・比較表

まずは無料でお試しくささい！

		tes+us		他社製品	
		フリープラン 個人	有料プラン 個人 チーム	A 社 採点システム	B 社 採点システム
ご利用料金		無料	個人: 1,980 円/月 チーム: ご相談	~6 学級: 90,000 円/年 7~18 学級: 120,000 円/年 19 学級~: 150,000 円/年	PC1台: 22,000 円/年 国公立: 99,000 円/年 私立: 330,000 円/年
手動採点	横串採点	○	○	○	○
	生徒個別採点	○	○	○	○
自動採点	記号	すべてお試しいただけます (使用量に上限あり)	無制限	○	○
	マークシート			△	○
	数式			○	×
	英単語			○	○
	英作文			○	×
	日本語短答			×	×
	日本語記述			×	×
	縦書き			×	×
	採点根拠の可視化			×	×
	採点基準ごとの自動採点			×	×
テスト・採点準備	解答用紙自動生成	○	○	×	×
	解答枠自動認識	○	○	○	○
	模範解答一括自動登録	○	○	△	○
	生徒と解答用紙自動紐づけ	○	○	○	○
分析・返却	分析機能	○	○	○	△
	Google Classroom 連携	×	○ (チームのみ)	○	○
	Microsoft Teams 連携	×	×	○	○
その他	クラウド対応	○	○	○	×
	オフライン対応	×	×	×	○

※ フリープランでは、解答用紙約 10 枚分の採点が可能です (1 枚あたり 30 問の想定)。
※ 法人向け機能・要件・ご予算等については是非お問い合わせください。



WEB サイトはこちら



開発・運営
所在地
お問い合わせ
発行年月
編集・発行元

株式会社マイクロシミュレーション
〒101-0027 東京都千代田区神田平河町 1 番地
contact@testus.jp
2026 年 5 月 1 日
株式会社マイクロシミュレーション